

大和郡山 防災ニュース R7.12月

このニュースは、市内で防災に関わる住民の皆さんに、動きや情報を提供します。

地域住民による避難所開設・運営訓練の実施報告

令和7年11月15日(土)、郡山北小学校において郡山第3地区の一部と第5地区の市民を対象とした避難所開設・運営訓練を実施しました。市関係者を除き、200名を超える市民の参加がありました。午前8時30分に奈良県内に直下型地震が発生、本市で震度7を記録したという設定のもと、各自治会単位で郡山北小学校へ集団避難し、午前9時30分から訓練がスタートしました。まず避難所である体育館の開錠・安全確認を行い、防災倉庫から備蓄品の運び出しを行いました。その後、保存食(アルファ米)の調理やテント及び簡易トイレの設置を行い、避難が長期化することを見据え、避難所運営のルールを決める避難所運営委員会の立ち上げや応急手当訓練、エコノミー症候群防止のための避難所体操などを行いました。その他、水消火器による消火訓練や給水車からの給水体験、トイレ処理剤の使用実演には多くの方が参加・見学され、最後には保存食を試食しました。今後は訓練の成果を踏まえ、地域の実情に合わせた避難所運営マニュアルを作成予定です。今回の訓練に携わっていただいた地域の皆様及び関係者の皆様、誠にありがとうございました。



年末年始に向けて火の用心！！

今年も残すところ、あと1か月になりました。日本各地では熊の出没が騒がれており、旅行に行く際には細心の注意が必要です。また今年の11月18日には大分県の佐賀関で大規模火災が発生しました。佐賀関は漁港町として発展してきた歴史があり、木造建物が密集し、道幅が狭い地域です。また令和5年住宅・土地統計調査によると、空き家率の全国平均は13.84%であり、大分県の空き家率は19.14%となっており、空き家が全国平均を上回っています。様々な要因が重なり、広範囲に延焼した可能性があります。本市においても城下町として栄えた歴史があり、道幅が狭く、木造建物が密集している地域があります。これから更に気温が下がり、寒くなって、暖房器具等の使用する機会が増えます。くれぐれも火の取り扱いには注意をお願い致します。

～火の用心ポイント～

- ①出かける前や就寝前には必ず火の元を確認する。
- ②家の周りに燃えやすいモノを置かない。
- ③年末の大掃除の際、コンセント周りのホコリも掃除する。

令和8年出初式を開催します。

令和8年1月11日(日)に大和郡山市総合公園にて消防団員の士気高揚を図り、あわせて市民の防災意識を高めることを目的とする消防出初式を開催します。屋外式典では消防車の分列パレードや一斉放水を行います。記念撮影もできるので是非ご来場ください。

自治会などの防災出前講座依頼も受付中！

少人数でも訪問します。災害対策課までご相談ください。

このニュースは、災害対策課、市内の各支所、矢田コミュニティ会館、南部公民館で配布しています。また、市のHPでもご覧になれます。

[大和郡山防災ニュース](#)

消防団のニュースは、『[大和郡山市消防団へようこそ！](#)』をご覧ください。

[大和郡山市消防団へようこそ](#)

発行人 災害対策課